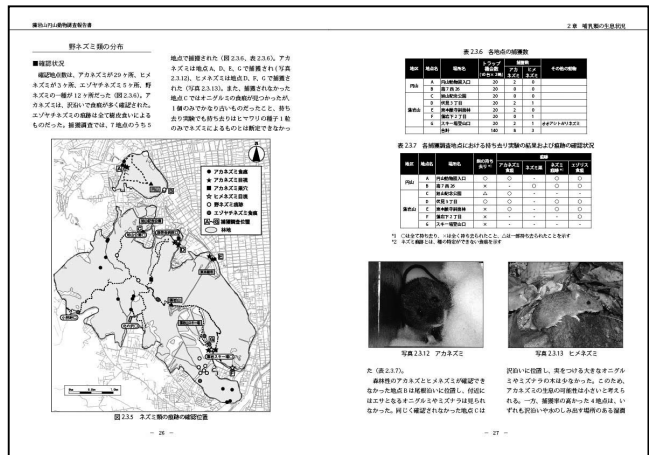
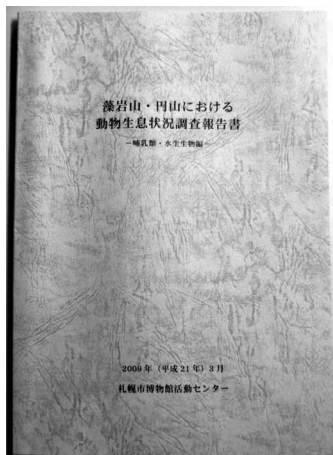


2009 年製作物について

2009 年は冊子や観察会用のグッズを多くつくる機会がありました。今回製作したものを簡単に以下に紹介します。もしこれが欲しい！というものがありましたら、リクエストを寄せてください。ウチが発行者ではないものがほとんどですが、残部・余部がありますので、先着順で差し上げます。(メールしてください)

①藻岩山動物調査報告書（札幌市博物館活動センター）



2005～2007 年度まで札幌市博物館活動センターの事業として行なってきた藻岩山円山の動物調査の成果を、今年度報告書に取りまとめたもの。年度によって調査対象も異なっていたため、哺乳類と水生生物（魚類・ザリガニ類・両生類）の 2 本立ての内容になっている。大都市札幌に隣接する自然ならではの生息環境の特徴や人と動物の問題を扱っている。哺乳類では、エゾシカといった今ではタイムリーな話題も含まれている。報告書の中身は札幌市博物館活動センターが HP (<http://www.city.sapporo.jp/museum/info/library.html>) で公開しており、閲覧できる。また、標本収集も調査の目的の一つであり、採集標本を生かして封入標本を作り、使った普及用標本セットを作製

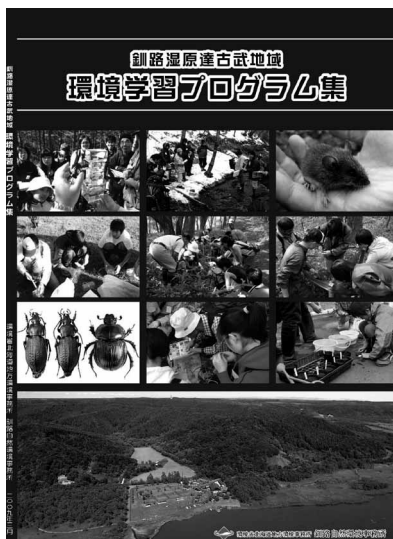
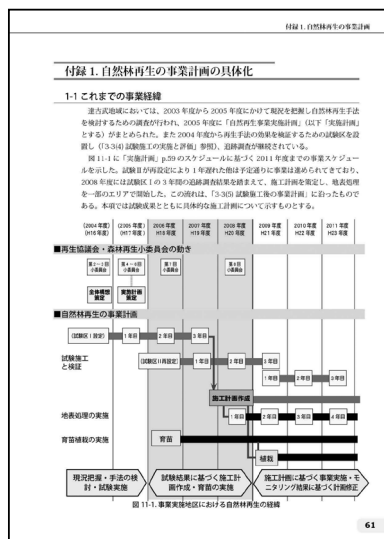
した。このセットはセンターで貸し出しを行なっている。

目次

- 1 章 調査概要
- 2 章 哺乳類の生息状況
- 3 章 水生生物の生息状況
- 4 章 標本収集と普及用標本の製作
- 5 章 自然情報システムへのデータ入力資料編



②釧路湿原自然再生事業 達古武地域事業実施計画・環境学習プログラム集
(環境省釧路自然環境事務所)



2. 生乳類目録

※ 生乳は14種が認定されている。小規模経営者、中規模はゴウウサバ、ネキタツネ、エゾマウス、エゾクナギタ、大規模はエゾウのみに限定。このほか、道産山鳩に一般的で飼育慣習のあるエゾモウナギ、ウズゴケモウナギにも他のゴウウ類と同等で生乳している畜種がある。

周辺地域の生乳目録表 (2004～2010年度の調査に基づく)

※ 認定畜種は●

号	種名	学名	KDC	生産地	認定畜種	認定畜種
1	ホルスタイン	ホルスタインの乳牛	乳牛	北海道	●	●
2	アールスメーク	アールスメークの乳牛	乳牛	北海道	●	●
3	ヤマトウシ	ヤマトウシの乳牛	乳牛	北海道	●	●
4	エゾウシ	Ezo usque meque	乳牛	北海道	●	●
5	エゾマウス	Ezo mouse mouse	乳牛	北海道	●	●
6	エゾクナギタ	Ezo kunagita kunagita	乳牛	北海道	●	●
7	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
8	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
9	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
10	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
11	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
12	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
13	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
14	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
15	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
16	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
17	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
18	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
19	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
20	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
21	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
22	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
23	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
24	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
25	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
26	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
27	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
28	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
29	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
30	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
31	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
32	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
33	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
34	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
35	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
36	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
37	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
38	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
39	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
40	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
41	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
42	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
43	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
44	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
45	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
46	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
47	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
48	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
49	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
50	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
51	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
52	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
53	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
54	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
55	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
56	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
57	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
58	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
59	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●
60	エゾノミ	Ezo nomi nomi	乳牛	北海道	●	●

※ 「カワサタ」と「白根」は周辺の2つの調査で認定された種、両区域は「認定畜種」で認定された種、両区域は「認定畜種」で認定された種。

●認定畜種

※ 認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1946年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1947年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1948年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1949年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1950年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1951年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1952年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1953年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1954年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1955年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1956年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1957年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1958年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1959年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1960年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1961年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1962年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1963年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1964年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1965年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1966年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1967年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1968年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1969年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

※ 1970年 北海道内各支庁の認定畜種は「認定畜種」で認定された種。

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

認定畜種

実施計画書は、達古武地域で自然林再生に取り組んできた調査成果や計画をまとめたもの。これにもとづいて再生を進めるという重要なもので、2005年に策定したものの、3年間の試験成果などを追記した。これ一冊読めば分かるように詰め込んである。

目次

第1章 実施者の名称及び実施者の属する協議会

第2章 対象区域の現況と自然再生に関する課題

2-1 達古武地域の位置

2-2 達古武地域の自然環境の概要

2-3 達古武地域の社会環境の概要

2-4 自然環境の課題と再生の方 向性

第3章 自然林再生地区における事業実施計画

3-1 事業実施地区における再生の目的と背景

3-2 事業実施地区の現状と課題

3-3 自然林再生の事業計画

3-4 土砂流出防止の事業計画

3-5 環境学習の事業計画

3-6 各事業計画の実施スケジュール

第4章 実施に当たって配慮すべき事項

平成21年3月の追記事項

付録1. 自然林再生の事業計画の具体化

付録2. 環境学習の事業計画の参考資料

もう一つは、達古武地域で2004年から取り組んできた自然環境調査と調査体験会で作成したプログラムの成果をまとめた「環境学習プログラム集」。

調査体験型・再生の活動実践型のプログラムを実際に実施した成果やそれをカリキュラム化したもの、地域の動植物目録など、いろいろ詰め込んであるので、こちらでこれ一冊でこの地域の自然の情報がだいたい把握できるようになっている。

目次

1 部 達古武地域の自然環境と環境学習への活用
達古武地域の自然の概要
生育・生息する動植物のリスト
環境学習に適した動植物の紹介

2 部 達古武地域における環境学習プログラム
実践可能なプログラム 17
環境学習用教材について

3 部 活動記録集 2004 ～ 2008
2004 年～ 2008 年に実施されたプログラムの報告／プログラム参加者の傾向・意見から

③豊滝・簾舞オオムラサキガイド さきちゃん通信特別版（簾舞地区町内会連合会）



札幌市南区の豊滝小学校、簾舞小学校では、近くの八剱山にオオムラサキが自生していることから、オオムラサキを育てて教育材料として活用している。教材として卵から成虫までの各段階の封入標本の作成を依頼された縁で、小冊子もつくることになった。

育成に長く携わっている佐藤先生や豊滝小の綱淵先生が撮りためている写真があるので、それを活かして12ページフルカラーのコンパクトな冊子にした。子ども達に楽しんでもらおうとイラストやペーパークラフトも導入、身近で見られる草花や野鳥の紹介も詰め込んだ。

※キャラクターの余談。オオムラサキの絵を描くにあたって、ググったら出てきたのが栃木県下妻市のシモンちゃん。ドリっとしたイラストも話題になった有名なキャラクターらしいが（さらにイラスト化したものも出てくる）、この羽はオスの模様じゃん！という突込みが多くなされたい。

確かにオスの羽じゃないと紫色でなくて、オオムラサキらしくないのやむを得ないところだが…。ということはシモンちゃんこの外見で男の子、ショタ？！ってオタクの話題になったらしい。しかし、よく見るとオスにしても変で、これ羽のオモテ面が裏に来ているんですよ。つまり羽を逆さに背負っているという。

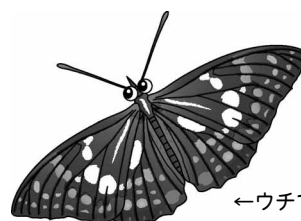
自分の場合は写真イラストの目をおっきくしておくぐらいのキャラにとどめました。（笑）



これがウワサのシモンちゃん。男の子？

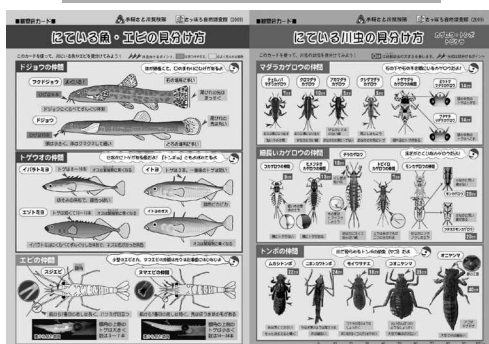


こんなヲタ系イラストがネットで出てきます。



←ウチで使ったのはこんな感じ。

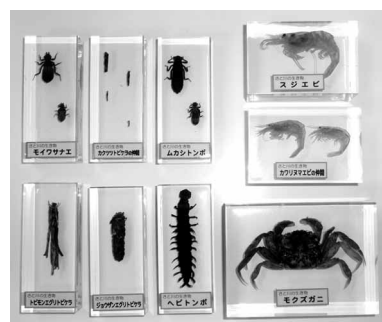
④手稲さと川探検隊・生き物ハンドブック＆川マップ＆見分け方シート



活動助成を受けた手稲さと川探検隊から依頼され、野外での活動に使うマップや生き物ハンドブック、生き物見かけ方カード、封入標本を作成した。一度に一つの団体がこんなにたいていろいろ作成するということはそうはないだろうというくらい欲張った(笑)。できる限り、隊員に製作にかかわってもらい、調査館は編集を中心に関わった。

マップは札幌市に許可をもらい空中写真を使わせてもらい、それを下敷きにしてイラストや活動場所の情報などをのせて作成している。空中写真を使うと、街のつくりや緑の分布、川の流れも俯瞰して見られ、それだけでも見ていて飽きず、きっと重宝されると思う。生き物ハンドブックは、子ども向け仕様と今後行なう調査で使えるも

のを意識して作成している。昨年度に行なった水生生物調査の結果を見ながら、代表的な魚や水生昆虫を中心に掲載し、見たらチェックをできるよう書き込み式にした。これと併用して使う生き物見分け方シート(14ページ「魚をPCイラストで描き分ける」参照)や水生生物封入標本も作成する。これらの活動アイテムが、今後のさと川探検隊で永く使われ、活動に役立てば幸いである。



⑤和琴半島自然教室・紹介パンフレット（環境省釧路自然環境事務所）

2008年2月に屈斜路湖畔にある和琴半島の自然紹介施設の改修を担当した。この施設は無人で小さな部屋の施設だが、封入標本をふんだんに使いながら、和琴半島の理解の助けになるようないろいろな工夫を凝らした。この施設の紹介をするパンフレットがこちら。

さらに2009年には近くの川湯温泉から硫黄山を結ぶ散策路の野外展示も担当。この地域では川湯のエコミュージアムセンターも含め、3箇所で開催館の展示を見ることができる。展示内容については、いずれ紹介をする予定。



3つ折両面パンフレット（ややトールサイズA4変形）

⑥観察会用グッズシリーズ 観察カード3種・動植物シール

調査館で開催する自然観察会では、毎度解説用カードなどを自作して、ラミネートして配っている。しかし、毎回のことなので、今までの成果を集約して汎用のしっかりしたカードを作ろうと思い、今年度は3種類を製作した。

テーマはげっ歯類（ネズミメイン）・木の実・木の子ども（実生・稚樹）。このカードさえあれば、大体の種類が見分けられるように集約したもの。さっそく釧路の観察会から実践投入されてマス。

右は、写真やイラストをシールにしたもの。しっかりした防水シールで永く楽しめるが値段がかなり高い。観察会での商品などとしてチビチビ提供する予定。写真はお借りした動物写真などで、なかなか豪華！

